

東京都病院協会 会報

AIG アリコ ジャパン
アメリカン ライフ インシュアランス カンパニー

東京都病院協会
医療共済制度 引受保険会社

東京都墨田区錦糸1-2-4 AIGタワー18F
アリコ ジャパン 全国法人開発部
TEL(03)5619-3827

2009年(平成21年)10月27日

第150号

毎月1回 定価 200円(会員購読料は会費含む)

発行所: 一般社団法人東京都病院協会 / 発行人: 河北博文 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内306号
TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL : http://www.tmha.net / E-mail : tmha@mri.biglobe.ne.jp

平成二十二年度 東京都予算等に関する 要望に対するヒアリング報告

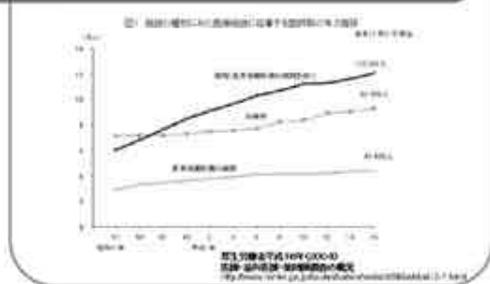
―新たな勉強会設置に向けて―

総務委員会

ヒアリングの経過報告

平成二十二年度東京都に対する予算要望書は、七月二十二日に東京都医師会に提出し、東京都医師会の要望書に反映され、東京都に提出された(東京都医師会に提出された当協会の要望の概要は枠内参照)。要望書に対するヒアリングは、平成二十一年九月二日(水)に自民党(午後二時)、公明党(午後三時)、民主党(午後五時)の三党と都議会議事堂で行なわれた。当協会からは河北会長、古畑副会長、安藤副会長、猪口総務委員長、事務局

医療施設に従事する医師数の年次推移

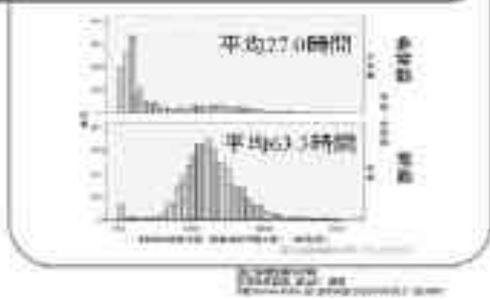


医師の大卒後の進路



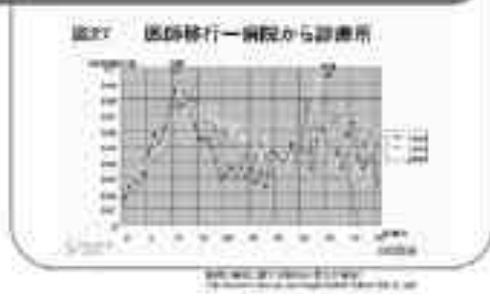
長が出席し、どの党に対しても東京都の医療機関の現状は「病院医療の崩壊」であることを説明した。さらに、東京都医師会と共同で行なったヒアリングとは別に、平成二十一年九月九日(水)午後四時四十分～五時に都議会民主党とヒアリングを実施した。当協会からは河北会長、古畑副会長、安藤副会長、猪口総務委員長、事務局二名が出席した。はじめに、河北会長より都内病院の事情として、「病院医療の崩壊」「地域格差」「東京都と地方(その他の地域)との政策の差」「医療における官と民

病院医師の1週間当たり勤務時間(院内)



望への理解をお願いした。要望の概要
一、東京都入院基本料の創設
東京都の地域格差を考慮した都独自の診療報酬への加算。民間病院に対する都立病院並みの補助。
昨年度の報告では、都立病院への一

病院から診療所への転移率 年次推移



二、勤務医の外来診療に対する負担軽減。「地域一般病院(仮称)」の創設
医師の過重労働の原因の一つに、外来患者の診療がある。病院(特に病床数の多い病院)の外来受診を減らすために、「地域一般病院(仮称)」の創設をご検討いただきたい。
たとえば、百床未満の病院を「地域一般病院」とした上で、診療所とともに受診料の自己負担三十%を低減し、不足分は公費負担とする。
負担の財源としては、小児医療の無料化をやめること等を検討いただきたい。
なお今回、提案の「地域一般病院(仮称)」とは、全日本病院協会が提唱し

の格差」「勤務医の勤務環境の悪化」「病院経営の厳しき。東京の高コストに対する手当」などについてを詳しく説明した上で、当協会独自に、次項に示す要望を提案した。
続いて、猪口総務委員長より当協会要望の裏付けとして、「病院勤務医の勤務環境改善について」の説明を行なった。説明の中では、「施設」ことの医師数の年次変化【表一】を始めとした「医師数の推移」「医師の大卒後の進路」【表二】、「病院勤務医の勤務時間」【表三】、「医師の病院での業務内容」【表四】、「勤務医の診療所への転職」【表五】などの実情をデータで示し、当協会の要望への理解をお願いした。

一般会計繰入金は四百七十七億六千五百二十三万円であった。民間病院に、都立病院並みの補助があれば、医師数は労働基準法準拠に近い確保が可能となる上、他職種への人件費等への充当が可能となり、勤務環境の大幅な改善が期待される。ぜひ検討いただきたい。

平成22年度東京都予算等に関する要望 (東京都病院協会に關係する要望の概要)

医療機能の向上のための基本的施策支援

1. 都内医療施設に対する教育研修支援事業
 - (1) 教育研修支援事業
 - (2) 医師確保対策の推進
 - (3) 地域小児医療の研修事業推進のための予算措置
 - (4) 看護師の復職支援の充実強化
 - (5) 医師事務作業補助への支援助成
 - (6) 看護師・介護福祉士等の資格取得に係る奨学金制度への補助
2. 診療情報の開示支援事業
 - (1) 診療情報の記録様式の標準化
 - (2) 診療情報の提供体制の構築
 - (3) 医療機関と都民との情報に関する交流活動
 - (4) 診療情報の電子化に伴う費用の補助
3. 地域連携の構築と地域医療推進支援事業
 - (1) 都内で医療・保健・福祉を実践している医療機関やその職員及び医療人、市民により構成する、地域医療連携体制構築のための検討機関の設置
 - (2) 各地域のネットワーク構築のために必要なIT設備導入への補助
4. 地域差是正のための補助制度の創設
5. 院内保育施設補助費の拡充
6. 患者図書館補助
7. 家庭版かんたんプロトコル(仮称)の作成(小児・高齢者の家庭内での急変対応)

医療の安全性を確保するための各種事業

1. 医療の安全性に対する要望
 - (1) 「医療関連被害救済センター」(仮称)の設置に向けた調査・研究
 - (2) 医療メディエーターの育成事業の創設
 - (3) 院内感染対策事業に対する補助の拡充
 - (1) 施設整備
 - 1) 外来における感染症患者の隔離室建設に対する補助
 - 2) 感染リスクを軽減する自動水洗(手洗い用)の設置に対する補助
 - 3) 空調設備補助
 - 4) スタンダード・プリコーションに必須なディスプレイ商品の導入配備補助
 - (2) 教育研修事業
 - 1) 感染症対策の院内研修会などへの補助
 - 2) 感染症対策の相談窓口の設置(委託事業としても可)
 - 3) 医療安全管理者の養成に関する補助
 - 4) 第五次医療法改正、医療計画等の推進にかかる医療安全対策
 - 5) 療養病床再編に対応するための事業に関する補助
3. 新型インフルエンザ対策への予算措置
4. 職員安全システムの構築のための支援

地域医療機能向上のための施策支援

1. 救急医療体制の充実
 - (1) 休日全夜間診療事業に関する項目
 - (2) 東京ルールに関する項目
 - 1) 東京ルールの地域災害医療センターについての要望
 - 2) 受入れ困難症例補助金増額の要望
 - 3) 選定困難症例受入に対する助成
 - 4) 救急トリアージナース育成に対する助成
 - 5) 東京都の救急医療体制の広報・啓発活動に対する助成
 - 6) 病院保有救急車の有効活用に対する助成
 - (3) 救急相談センターへの医師派遣に対する評価
 - (4) 救急医療研修等の充実
 - (5) 救急車外来患者における未払いに対する損失補填
 - (6) 結核・結核疑い患者受入れに対する助成
 - (7) 精神・身体合併患者受入れに対する要望
2. 慢性期医療体制の充実
 - (1) 療養病床の介護療養型老人保健施設への転換にかかわる新たな補助制度について
 - 1) 建替整備
 - 2) 改修
 - 3) 一般病棟、精神科病棟等療養環境改善補助
 - (2) 耐震構造
 - (3) 禁煙対策への補助
 - (4) 東京都における機能転換に対しての要望
 - (5) 介護保険制度改定による新たな食費、居住費の利用負担に伴い、食事基準費用額に地域差を適切に反映させるための東京都独自の補助
 - (6) 療養病床等での急性期病院からの患者受け入れに対応するための補助
 - (7) 療養病床における「慢性期救急医療」の創設
 - (8) 介護療養型老人保健施設との連携医療機関への補助
 - (9) 緩和ケア・認知症ケア医療の充実
 - (10) 難病患者・認知症患者等への医療補助の復活
 - (11) 認知症患者夜間ショート入院に対する補助
 - (12) 療養病床及び回復期リハビリテーション病床の整備
 - 1) 療養病床の整備とソフト面の支援
 - 2) 回復期リハビリテーション病床の整備
 3. 医療費未納患者に対する貸付制度の創設及び補填制度の拡大
 4. 医療施設の近代化、効率化促進

国に対する働きかけ

1. 東京都独自の医療保険制度の枠組み変更と運営裁量の確立
2. 医療に係る消費税にゼロ税率課税適応
3. 東京都の地域格差の見直し

ている「地域一般病棟」とは異なる。

三、医師業務の軽減のための特区申請
医師業務は、診断と治療に専念すべきであることから、医師業務を見直し、教育を受けた看護師や事務職に委譲していくことが必要である。委譲できる業務を検証、実施していく特区の申請を検討いただきたい。

四、家庭医育成のシステム構築
家族歴を含めた健康相談や初期診察を家族単位で受け持つ医師(家庭医)を育てるシステム(診療報酬を加味し

て)の構築を検討いただきたい。

家庭医の開業についても合わせて検討していただきたい。

五、その他
院内保育園ではなく地域の保育園の充実・現在東京都では女性医師、看護師の福利厚生の一環として院内保育施設を設置を推進しているが、院内への設置は一次しのぎとしては効果的ではあるが、生活の環境としては子どもが育むにいいと思えない。各地域に保育、幼稚園を増やす等、施設の充実を検討いただきたい。

診療所との連携について…東京都立墨東病院では、地域の産科医が当直に組み込まれるようになった。勤務医の労働環境を改善する方策として、当直に近隣の開業医に輪番で協力してもらった体制を構築していくのも過重労働の軽減に繋がっていくので、検討いただきたい。

勉強会設置に向けて
当協会側の要望と説明で規定の時間となつてしまい、民主党側からの意見を確認する時間をとることができな

つたが、東京都の病院の実情に関しては、改めて理解していただいたとの感触が得られた。

今後は継続して地域差や補助金、特区申請などについて、中期にわたる勉強会を開催していくことを提案したところ、都議会民主党からはぜひ近々の開催に向けて双方の調整を行いたいとの希望があった。これを受け、総務委員会が勉強会設置に向けて具体的な調整を行い、理事会報告の通り、去る十月十六日第一回の勉強会を開催した。



ヒトにも環境にも優しい、
そんな施設であってほしい。



優れた環境性・安全性・経済性。
病院、介護・福祉施設もオール電化にSwitch!
安全でクリーンな電化厨房、高効率で経済的なヒートポンプ給湯機や空調システムなど、オール電化が、ヒトにも環境にも優しいこれからの施設づくりをお手伝いします。

[Switch!] × [病院、介護・福祉施設]

秋！ユニークな研修会が続く 積極的な参加をお勧め下さい

教育倫理委員会主催

主題「犯罪被害者支援・児童虐待問題
における医療機関の係わり」

日時：平成二十一年十一月六日(金)

午後一時三十分～四時三十分

会場：東医健保会館三階会議室

(JR信濃町駅 徒歩五分)

演題「犯罪被害者支援に対する
医療機関の役割」

医学博士 中島 聡美氏

(国立精神・神経センター精神保健研
究所成人精神保健部犯罪被害者等支
研究室長)

「児童虐待問題に対する
医療機関の取組み」

ソーシャルワーカー 實方 由佳氏

(国立成育医療センター)

会費：会員 三千元 非会員 六千元

定員：先着百名(定員になり次第締め
切らせていただきます)

「モーター音楽療法の
効果的な活用方法を学ぶ」

看護管理部主催

日時：平成二十一年十一月十三日(金)

午後二時～四時三十分

会場：東医健保会館 三階中ホール

(JR信濃町駅 徒歩五分)

講師：和合 治久氏

(埼玉医科大学 教授・学科長)

会費：会員 三千元 非会員 六千元
定員：先着百名(定員になり次第締め
切らせていただきます)

事務管理部主催

主題「病院職員のための接遇」

日時：平成二十一年十一月二十五日(水)

午後二時～四時三十分

会場：東医健保会館

(JR信濃町駅 徒歩五分)

講師：赤尾 英子氏

(オフィス・マイルス 代表・講師)

会費：会員 三千元 非会員 六千元

定員：先着百名(定員になり次第締め
切ります)

主題「電子媒体からの
個人情報漏洩防止のために」

日時：平成二十一年十二月九日(水)

午後二時～四時

会場：東京都医師会館 四階講堂

(JR 地下鉄各線
御茶ノ水駅 徒歩五分)

講師：矢部 淳志氏

(システムアローポーション(株)
代表取締役CEO)

会費：会員 三千元 非会員 六千元

定員：先着百名(定員になり次第締め
切らせていただきます)

【申込み先】一般社団法人東京都病院
協会事務局

所定の参加申込み用紙に必要事項を記
入の上、ファックスにてご連絡下さい。

FAX：〇三三二七〇八九八

東京都福祉保健局主催

主題「東京都地域医療対策講演会
医師及び医療関係職等との役割分担と
チーム医療の推進について」

日時：平成二十一年十一月二十六日(木)

午後六時～八時三十分

場所：東京都議会議事堂

一階都民ホール

定員：二百八十名(参加費無料)

演者：総合母子保健センター愛育病院
院長 中林 正雄氏

安全で快適な妊娠、出産のため、産
科医と助産師・看護師との相互理解と
信頼関係に基づいたチーム医療の必要

性を説く

東京医療保健大学医療保健学部
看護学科学科長 坂本 すが氏

チーム医療が進む医療現場で、チ
ム全体を把握し、その核となる看護
師・「へこたれない看護師」の育成
をモットーに臨床の現場に強い看護師
教育を実践

締切り：平成二十一年十一月十八日(水)

【問い合わせ先】テ一六三八〇〇一

東京都新宿区西新宿二一八一

福祉保健局 医療政策部 医療人材課

TEL：〇三三二七〇八九八

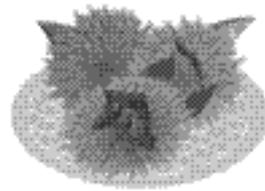
(直通)

理事会報告(10月)

10月16日、第1回の当協会と都議会民主党との勉強
会が開催されました。都議会民主党からは28名、当
協会からは学識者を含めた18名が出席して、合計43
名で行なわれました。第1回の勉強会は「法律と経
済・財政」をテーマとし、宮澤弁護士による「医療
関連法規と患者・医療者の権利」、河北会長による
「わが国の経済の実態と今後の医療経済のあり方」の
講演があった。その後、五阿弥宏安氏(読売新聞編
集局総務)、土居丈朗氏(慶応大学経済学部教授)に
コメントをいただき、各議員との質疑応答がかわさ
れました。今後、本勉強会は計3回実施の予定です。

十月二十日の理事会では、第5回東京都病院学会
運営委員会より、参加および演題申し込みが少ない
との報告があり、早急に申込み手続きを行なうよう
依頼がありました。

引き続きBML総合研究所の見学会が行なわれ、
BMLより自動検査システム「フロンティア&シンフ
ォニー」の案内がありました。詳細は、本会報4頁に
報告しております。



Panasonic

Plissimo

医用画像ファイリングシステムから遠隔画像診断支援システムまで。
ご要望に合わせたシステムをご提案いたします。

医用画像管理をトータルシステムでご提供します

パナソニック メディカルソリューションズ株式会社
panasonic.co.jp/psec/pmsc

〈お問い合わせ先〉

【大阪】〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
Tel: 06-6905-4161 Fax: 06-6905-8359

【東京】〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目2番1号 東京パナソニックビル3号館 6階
Tel: 03-6403-3019 Fax: 03-3438-5045

メール: plissimo@gg.jp.panasonic.com

BML総合研究所 見学会報告

十月二十日開催の理事会は、理事会閉会の後、午後六時から川越市にあるBML総合研究所の自動検査システム「フロンティア&シンフォニー」の見学会を行なった。参加者は、総勢十七名。見学会は主としてBML総合研究所の検体本部長工藤様より本システムの案内を受けた。

システムの主な流れは

- (一) 全国の営業所から搬入された血液検体は、まずバーコードを読み取り、依頼された検査項目を検索。
- (二) 検体は各種検査に必要な分量を取り分けた後、自動分析装置にて各種検査を実施。
- (三) 得られた検査結果は、ホストコンピュータで集計した後、各医療機関に報告。
- (四) 検査を終えた検体は、二週間保管。契約保管期間を過ぎれば焼却処理に

て焼却・廃棄。
ラボ内の検体搬送には、ロボットシステムを導入、血液検体の受取りから自動分析装置へのセッティング、検査終了後の回収まで全自動化されている。検査は夜間に実施して、翌朝には検査結果が各医療機関に報告される。生化学分析はルーティンから特殊検査まで四千を超える検査領域を網羅し、現在、一日二十万人を超える検査



東京都福祉保健局・東京都医師会 からの連絡事項(9月・10月)

- 21福保高計第434号 平成21年9月18日
「療養病床転換意向等アンケート調査」の実施について(依頼)
- 21福保医安第588号 21福保健監第956号
平成21年9月29日
血液浄化療法における血液回路の接続部位のルーアロク化について(周知依頼)
- 東都医発第1829号 平成21年10月1日
医療施設の耐震化に向けた緊急整備事業に係る要望書の提出について
- 東都医発第1930号 平成21年10月14日
「院内感染対策サーベイランス」に係る参加医療機関の追加募集について
- 東都医福発第1934号 平成21年10月14日
平成21年度東京都在宅医療相互研修事業の実施に伴う「東京都在宅医療推進シンポジウム」の開催について
日時：平成21年11月3日(火)午後2時~5時
場所：東京都庁第1本庁舎 5階 大会議場(参加無料)
- 21福保健監第957号 平成21年10月16日
X線診断装置等と植込み型心臓ペースメーカー等の相互作用に係る「使用上の注意」の改定指示等について

会務日誌・委員会報告 (八・九・十月)

- 八月二十六日
 - 第二回診療情報管理委員会
 - 診療情報管理勉強会全体会について
 - 今後の勉強会の計画について
- 九月一日
 - 第四回医療安全推進委員会
 - 今後の事業計画について
 - 新型インフルエンザについて
- 九月八日
 - 第六回総務・経理委員会
 - 九月度理事会議題について
- 九月十四日
 - 第四回急性期医療委員会
 - 東京都総合防災訓練反省
 - 今年度研修会について
 - 東京ルールの進捗状況について
- 九月十七日
 - 第四回事務管理委員会
 - 研修会運営について
 - 今後の事業計画について
- 九月二十四日
 - 第四回渉外・広報・会員組織委員会
 - 広報紙一四九号反省および一五〇号企画について
- 九月二十五日
 - 第三回診療情報管理委員会
 - 今後の勉強会の計画について
- 九月二十八日
 - 第五回慢性期医療委員会
 - 慢性期入院医療について
 - 療養病床の転換について
- 九月二十九日
 - 第四回環境問題検討委員会
 - 第八回環境会議開催について
 - 第五回東京都病院学会参加について
- 十月二日
 - 第三回看護管理部会
 - アンケート調査について
 - 平成二十二年研修会開催について
- 十月六日
 - 第五回医療安全推進委員会
 - 東京都の新型インフルエンザの現状について
- 十月十三日
 - 第七回総務・経理委員会
 - 十月度理事会議題について
- 十月十九日
 - 第五回急性期医療委員会
 - GIS研修会について
 - 東京ルールの進捗状況について
- 十月二十一日
 - 第二回教育倫理委員会
 - 犯罪被害者支援講演会開催について
 - 平成二十一年度事業計画について
- 十月二十二日
 - 第五回渉外・広報・会員組織委員会
 - 広報紙一五〇号反省および一五一号企画について



富士を借景とし、朝陽に迎えられる「武蔵野タワーズ」。
※2008年4月撮影の眺望写真(現地上空約70m)に計画段階の図面を基に描いた完成予想図を合成し、CG加工を施したもので実際とは異なります。

JR中央線「三鷹」駅 徒歩2分のツインタワー。「商業・医療・スポーツ・住宅」の複合開発。

武蔵野タワーズ

JR中央線「三鷹」駅北口駅前にて、
第2期モデルルーム公開。

お問い合わせは「武蔵野タワーズ」マンションパビリオンまで
【営業時間】10:00~18:00(水曜定休)

☎ 0120-570-272

物件の最新情報はホームページをご覧ください。

www.m570.jp

※1「スカイゲートタワー」からの徒歩分数となります。

〈地主・販売代理〉 野村不動産 〈地主〉 三菱地所 〈地主〉 NTT都市開発 〈地主・販売代理〉 LAND 株式会社 ランド 〈地主〉 ORIX オリックス不動産